



秋田といえば「おもてなし県」。にしませんか。

中小企業診断士・一級販売士
(秋田県商工会連合会 嘱託専門指導員)

後閑 和子氏 寄稿

秋田県商工会女性部が永年「おもてなし活動」を継続することで、各地域で「おもてなしの心」が定着している、ということをお伝えしました。そこで、提案です。

秋田といえば、「おもてなし県」といわれるようにしませんか。香川が「うどん県」というように。人が自然と口でつぶやくようにしませんか? 「おもてなしの心」はすでに皆様一人一人の中で醸成しそれを地域で発揮しています。そして、第二段階として、秋田県を「おもてなし県」にするために、会員の皆様が自店を「おもてなし」店にしませんか。

実は「おもてなし」は、目に見える部分と、目に見えない部分に分かれていますと考えます。目に見えない部分は、お店にきていただきたい、という想い、お客様の笑顔を見るためにはどうしたらよいか、と考える熱い気持ち、つまりこころの部分です。

一方、目に見える部分は2つの部分に分かれます。1つ目は、モノの部分です。例えば、店舗の外観はどうか。10M先からあのお店は何やさんと業種がすぐ分かる袖看板があるか。更には、お客様に提供する商品をどんな商品構成にするのか、価格帯はどうするのか、そのためには、どんなお客様を対象とするのか。またどんな風に陳列するのか、シニア層には床から80センチぐらいに陳列すると見やすい。若い人は75～135センチぐらいが見やすい。そこに売りたい商品を置きましょう。「今これが売れています」というPOPも必要です。照明も雰囲気醸し出す小道具になりますね。また、お客様にお店にずっといたいと思わせる清

潔さもポイント。これらがすべてモノの部分です。お客様が見やすい・歩きやすい・手に取りやすい・買いやすいことを具体的に工夫していくことはこの部分ですね。さらに、目に見える2つ目の部分は、目に見えないこころの部分の形として表現する接客のことです。お客様の顔色をみて、お疲れの様子だったら、椅子を勧める。入店後、目が合って避けられた時は、無理にアプローチせずに自由にみていただく、でもしっかりとどのコーナーに立ち寄っているか、に注目して、何に関心があるかを把握しておく、そしてお客様と話すときはさりげなく先ほどの視線の先の商品を提案してみても反応を見る。そこにはとても深い気配りがあります。自店を「おもてなし」店にすることが、秋田県を「おもてなし県」にするファーストステップです。いかがでしょう。



年1回は 特定健診 を受けましょう

近年、増えている糖尿病や高血圧等の生活習慣病の予防、早期発見や重症化を予防するため、「特定健康診断(特定健診)」と「特定保健指導」

が行われています。

特定健診は、ご自分の健康状態を知る機会にもなりますので、ご家庭や職場内で声をかけあい、忘れずに受けましょう。

○対象者：40歳～74歳の方

○受診方法：

●国民健康保険の方は、お住まいの市町村から受診券が送付されます。

●お勤めの方は、職場もしくは、医療保険者(健康保険証発行)から、健診に必要な書類が送られます。また、扶養されているご家族の方も受けられます。

※詳しくは、市町村、職場の担当の方にお問い合わせください。
※人間ドックを受けられる方は、その結果が、特定健診の受診扱いとなりますので、受診後、市町村や職場の担当の方にご連絡くださるようお願いいたします。

秋田県健康福祉部健康推進課 018-860-1422

1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ
～ 健康寿命の延伸 ～

(厚生労働省「平成27年度健康増進普及月間」の統一標語)

共済加入者 喜びの声

商工会貯蓄共済
3つの特徴

消費税への準備!! 応援します!

貯蓄 保障 融資
自己資金の充実 万が一の時も安心 企業の資金繰り

商工貯蓄共済

「資金繰りに役立ってます」



貯蓄共済には、「従業員の福利厚生などにも使える積立」という点を魅力に感じ加入しています。

経営者としては、事業運営上予定外の支出が生じることも多く、そんな時に商工会から「貯蓄共済には、積立金の一部を払い出せる制度がある」ことを教えていただきました。以来、毎年増口を心がけるようにしています。

当初から満期金を運転資金に充てられればと思い加入した貯蓄共済ですが、「一部払出制度」を利用することで突然の資金繰りにも慌てることなく対処できるようになり、経営上の悩みが少なくなったと思います。

今後も消費税など納税資金を含めた運転資金の積立として、貯蓄共済と付き合いしていきたいと思っています。

[北秋田市商工会]

(有)片岡電気工事(一般電気工業)

代表取締役 片岡 信幸 様